

令和 8 年度北稜高校生徒心得

本校の生徒は、本校教育の目的に則して学業に専念し、自己を研磨すると共に本校生としての品位を保つことを心掛けねばならない。また校内・校外を問わず、礼儀を重んじ、他人を尊重し、公共の福祉に努める、明るい学校づくりに努力しなければならない。

1 整容規定

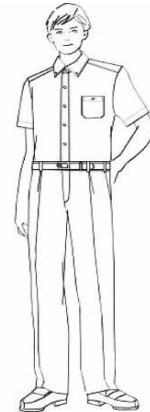
高校生らしい清潔感のある整容を心がける

ア Aスタイル

冬服

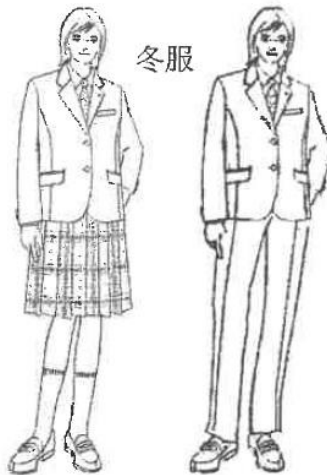


夏服

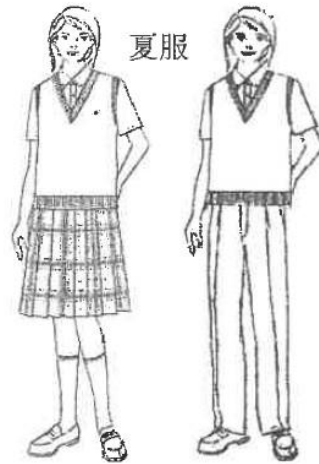


イ Bスタイル

冬服



夏服



【頭 髪】

下記の a～f を厳守すること。

- a 前髪は目にかからない。それより長い場合は切るかピンで留める。
- b 後ろ髪は肩のラインまでとし、それより長い場合は切るか後方で結ぶ。
- c ヘアピンやゴム等、髪に着けるものは黒、紺、茶の華美でないものとする。
- d 眉は整える程度で、極端に剃ったり抜いたり、書き足したりしないこと。
- e 作為的な髪型にしない。
- f 染色、脱色は認めない。

【校 章】 詰め襟の左襟前面に着用すること。ブレザーは左胸前面に着用すること。

【制 服】 制服は本校指定のものとする。スカートの長さは膝頭中央にかかる程度とする。

【上履き】 指定スリッパを履き、学年・クラス・氏名をわかりやすく記入する。色は学年別とする。

【靴 下】 白、黒、紺の単色とする。冬服移行後は、気候に応じて各自で判断して黒色タイツの着用を認める。

【防寒着】 冬服移行後は、気候に応じて防寒着、本校指定セーター、ネックウォーマー、マフラー、手袋を着用する。ただし、制服に適した華美でないものとする。防寒着の色は黒・紺・白・グレー系とし、ロングコートは不可とする。

【靴】 履きやすい靴（ローファー、ランニングシューズ、スニーカー等、華美でないものとする。）

【バッグ】 基本的にリュックサックタイプまたは手提げバッグとし、落ち着いた色のものを使用する。

【ベルト】 黒、紺、茶の単色とし、華美でないものを使用する。

【その他】

- ・髪質が気になる生徒は担任に相談すること。
- ・ネックレス、ブレスレット、ピアスなどの装飾品や、整髪料、カラーコンタクト化粧等は認めない。
- ・身分証明書を常に携帯しておく。
- ・原則として冬服は１１月～５月、夏服は６月～１０月とし、気候に応じて移行期間を設ける。また、体調に合わせて服装を調節することを認める。ただし、式典等は正装で参加すること。
- ・Ｂスタイルのネクタイは、冬服では着用し、夏服では個人の判断とする。
部活動生の服装について、休日、長期休業および校外で試合等の際は部活着または体操服での登下校を認める、冬服移行後においては、防寒着の着用を認める。

【着こなし】

- ・Ｂスタイルでの夏服においてベストを原則着用とするが、暑さが厳しい場合は着用しなくてもよい。なお、始業式・終業式・その他の式典等は必ずベストを着用する。
- ・Ｂスタイルの冬服においてジャケットの中には必ずベストかセーターを着用する
- ・Ｂスタイルの冬服においてベストやセーターを着用する場合は、ジャケットの裾から出ないように着こなす。
- ・詰め襟着用時は、中に指定のカッターシャツを必ず着る。
- ・詰め襟は第１ボタンまでしっかり留める。
- ・シャツの中に着るインナーは華美でないものとし、襟や袖から見えないようにする。
- ・夏冬ボタンダウンシャツの襟ボタンは必ず留める。
- ・夏ボタンダウンシャツの第１ボタンのみ外してもよい。
- ・スカートについて、裾上げや腰回りを曲げることは厳禁。